

舟山裕士 内藤広郎 福島浩平 柴田 近 橋本明彦 北山 卓 西條文人 長尾宗紀 佐々木 巖	Crohn 病小腸病変の分布様式.	第 44 回日本消化器病学会大会	横浜	2002/10/24
内藤広郎 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 児山 香 小川 仁 上野達也 橋本明彦 北山 卓 西條文人 長尾宗紀 松野正紀 佐々木 巖	成人在宅中心静脈栄養 (HPN) におけるマンガン投与の問題点.	第 44 回日本消化器病学会大会	横浜	2002/10/24
福島浩平 内藤広郎 舟山裕士 柴田 近 小川 仁 橋本明彦 北山 卓 長尾宗紀 佐々木 巖	潰瘍性大腸炎上皮における Symcollin mRNA の発現低下.	第 44 回日本消化器病学会大会	横浜	2002/10/24
村上英毅 西村 拓 櫻井俊弘 菊池陽介 頼岡 誠 真武弘明 津田純郎 松井敏幸 八尾恒良 岩下明德 山本佳正	広汎な消化管病変をともなった単純性潰瘍の 1 例.	第 63 回日本消化器内視鏡学会総会	甲府	2002/4
高木靖寛 岩下明德 松井敏幸 菊池陽介 櫻井俊弘 八尾恒良	クリニカルディベート. m3,sm1 食道表在癌における内視鏡的粘膜切除術 (EMR) の適応拡大に関する検討.	第 63 回日本消化器内視鏡学会総会	甲府	2002/4
櫻井俊弘 田辺 寛 頼岡 誠 高木靖寛 嶋津剛典 松井敏幸 八尾恒良	n-3 系脂肪酸を含有した半消化態栄養剤の活動期 Crohn 病患者に対する短期的効果-脂肪酸分析の検討を含む-.	第 88 回日本消化器病学会総会	旭川	2002/4

菊池陽介 川本研一郎 植木敏晴 真武弘明 津田純郎 八尾建史 櫻井俊弘 松井敏幸 八尾恒良 小野広幸 田中 仁 岩下明德	多発肝転移巣をきっかけに診断された直腸カルチノイドの一例.	第 88 回日本消化器病学会総会	旭川	2002/4
和田陽子 櫻井俊弘 松井敏幸 八尾恒良	非穿孔型 Crohn の長期経過.	第 57 回日本大腸肛門病学会 シンポジウム	横浜	2002/11
別府孝浩 櫻井俊弘 松井敏幸 八尾恒良 岩下明德 岡留 綾 平塚義治	肉芽腫性前立腺炎を合併した Crohn 病の一例.	第 44 回日本消化器病学会大会.	横浜	2002/11
Chiba, T. Nakase, H. Watanabe, N. Okazaki, K.	Development of an oral drug delivery system targeting immunoregulating cells in inflammatory bowel disease.	A new therapeutic strategy: International Symposium		2002/4/25
Matsuura, M. Okazaki, K. Nakasae, H. Tabata, Y. Ohana, M. Nishi, T. Watanabe, T. Tamaki, H. Uchida, K. Chiba, T.	Rectal Immunization with Antigen-Containing Microspheres Induces Stronger Th2 Responses Than Oral Immunization.	A New Method for Vaccination: Digestive Disease Week and the 103rd Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,		2002/5/19
Watanabe, N. Ikuta, K. Okazaki, k. Nakase, h. Tabata, y. Matsuura, M. Tamaki, M. Honjo, T. Chiba, T.	Elimination of Local Macrophages in the Intestine Prevents Chronic Colitis in Interleukin-10 Deficient Mice.	Digestive Disease Week and the 103rd Annual Meeting of the American Gastroenterological Association		2002/5/19
Wakatsuki, Y. Yoshida, M. Shirai, Y. Watanabe, T. Yamori, M. Kita, T. Chiba, T.	Differential Localization of Colitogenic CD4 T Cell Subsets Monospecific to a Micro Flora-Associated Antigen in a SCID-Transfer Model.	Digestive Disease Week and the 103rd Annual Meeting of the American Gastroenterological Association		2002/5/19

河村由紀 白井裕子 加藤理恵 濱端 崇 山本正文 古川鋼一 Kohtaro, F, McGhee, JR, <u>土肥多恵子</u>	GM1 ganglioside functions as a receptor for pathogen-associated molecular patterns (PAMP).	第 32 回日本免疫学会総会・学術集会	東京	2002
河村由紀 白井裕子 濱端 崇 古川鋼一 <u>土肥多恵子</u>	コレラ毒素によるマウス骨髄由来樹状細胞の分化誘導機構.	第 13 回日本樹状細胞研究会,	岡山	2002
加藤理恵 河村由紀 白井裕子 <u>土肥多恵子</u>	IL-4 receptor signal regulates intestinal regeneration and differentiation in vivo.	第 32 回免疫学会総会,	東京	2002
<u>Dohi, T.</u>	IBD in GALT minus mice.	Lymphotoxin in the mucosal immune system and in B cell biology,	Birmingham	2002
<u>Dohi, T.</u> Fujihashi, K. Shirai, Y. Kawamura, Y. Kato, R. McGhee, JR.	Small intestinal transformation and waning disease induced in T cell deficient mice by adoptive transfer of CD45RBhi Th2 cells.	AGA Research Forum, Epithelial cell-immune cell interactions, Digestive Disease Week Annual Meeting	San Fransisco	2002
<u>Dohi, T.</u> Kato, R. Fujihashi, K. McGhee, JR. Shirai, Y. Kawamura, Y.	Dysregulated Cytokine Network Alters Turnover Of Intestinal Epithelial Cells. Keystone symposia.	Microbial - Epithelial - Lymphocyte Interactions in Mucosal Immunity (F1)	Brickenridge	2002
<u>土肥多恵子</u> 河村由紀 白井裕子 加藤理恵 江島智子	Activin-follistatin system: novel players in mucosal inflammation.	第 32 回日本免疫学会総会	東京	2002
<u>土肥多恵子</u> 加藤理恵 白井裕子 河村由紀	Mucosal cytokine imbalance alters proliferation and differentiation of intestinal epithelial cells.	第 88 回日本消化器病学会総会	旭川	2002
白井裕子 加藤理恵 河村由紀 齊藤幸夫 <u>土肥多恵子</u>	ヒト大腸粘膜固有層内単核細胞の腸管内常在菌 LPS に対する応答.	第 88 回日本消化器病学会総会	旭川	2002
田原良博 <u>坪内博仁</u> 他	硫酸デキストラン実験腸炎に対する肝細胞増殖因子 (HGF) の治療効果.	第9回日本消化器関連学会週間(DDW-SSJapan)		2002/10
有村佳昭 <u>今井浩三</u> 他	シンポジウム「炎症性腸疾患の新しい治療戦略」 Matrix Metalloproteinase 制御による粘膜上皮再生療法.	第39回消化器免疫学会	新潟	2002/3/7
後藤 啓 <u>今井浩三</u> 他	マウス実験的腸炎における Matrix Metalloproteinase 発現の検討.	第9回東日本IBD病因・病態フォーラム	東京	2003/3/23
小林敏和 <u>今井浩三</u> 他	炎症性腸疾患における活動性指標の検討—血清・便中カルプロテクチンの測定.	第9回東日本IBD病因・病態フォーラム	東京	2002/3/23

岡本隆一 矢島知治 渡辺 守	ヒト骨髄由来細胞による腸管上皮の再生.	第 88 回日本消化器病学会		2002/4/26
渡辺 守	粘膜免疫における IL-7 -炎症から上皮再生・分化へ-	第 18 回近畿消化管病態研究会		2002/7/19
Watanabe,M.	Mucosal IL-7/IL-7 receptor dependent signals in the development of chronic intestinal inflammation.	The Awaji International Forum on Infection and Immunity		2002/8/25
渡辺 守	腸管粘膜免疫における IL-7 の役割 -炎症から上皮再生・分化へ-	第 28 回免疫カンファレンス		2002/9/7
岡本隆一 矢島知治 渡辺 守	骨髄由来細胞による腸管上皮の再生機構.	第 44 回日本消化器病学会		2002/10/25
渡辺 守	腸管粘膜免疫における IL-7 の役割 -炎症から上皮再生・分化へ-	第 2 回腸管機能と免疫研究会学術集会		2002/11/2
岡本隆一 松本智子 山崎元美 中村哲也 金井隆典 矢島知治 日比紀文 岡本真一郎 池田康夫 向井万起男 稲澤譲治 渡辺 守	骨髄由来上皮細胞による腸管上皮の維持・再生機構.	第 10 回浜名湖シンポジウム		2002/2/23
Watanabe,M.	Epithelial regeneration by bone marrow-derived cells in the human gastrointestinal tract.	Colloquium for the Study of Gastrointestinal Defense System (日本消化器免疫学会サテライトシンポジウム)		2003/1/11
佐田美和 五十嵐正広 勝又伴栄	潰瘍性大腸炎のサーベイランスにおける拡大観察の有用性の検討.	第 64 回日本消化器内視鏡学会	横浜	2002/10
廣谷友範 伊藤裕章	マウス DSS 腸炎における抗 IL-6 レセプター抗体(MRA)の効果の検討.	第 88 回日本消化器病学会総会	旭川	2002/4/26
廣谷友範 伊藤裕章	抗 IL-6 レセプター抗体は DSS 腸炎の発症を抑制する.	潰瘍病態研究会第 11 回フォーラム	東京	2002/8/24
宇山宏和 永井宏幸 平田昌哉 榎本平之 貴島芳彦 吉田賢哉 奥田偉秀 廣谷友範 伊藤裕章 中村秀次	酸素投与にて改善した腸管気腫性囊腫症の 1 例.	第 69 回日本消化器内視鏡学会近畿地方会	大阪	2002/10/5
伊藤裕章	シンポジウム 21「消化吸収障害に対する先進医療」IL-6 シグナルを標的とした炎症性腸疾患の新しい治療.	第 33 回日本消化吸収学会総会 (DDW-Japan)	横浜	2002/10/27
廣谷友範 小川弘之 伊藤裕章 岸本忠三	ポスター・ワークショップ 14「新しい免疫療法」潰瘍性大腸炎モデルに対する抗 IL-6 レセプター抗体の効果.	第 32 回日本免疫学会総会	東京	2002/12/4

飯合恒夫 須田武保 山崎俊幸 岡本春彦 畠山勝義	潰瘍性大腸炎術後回腸囊炎の治療.	第 102 回 日本外科学会 総会	京都	2002/4/11
飯合恒夫 須田武保 桑原明史 岡本春彦 畠山勝義	潰瘍性大腸炎におけるステロイド使用量とステ ロイド副作用の関係.	第 57 回 日本消化器外科 学会総会	京都	2002/7/28
Iiai, T. Suda, T. Okamoto, H. Kuwabara, A. Shimada, Y. Hatakeyama, K.	Long-term complications after ileal-pouch anal anastomosis for ulcerative colitis.	第 57 回 日本大腸肛門病 学会総会	横浜	2002/10/4
片岡寛章, 伊藤浩史 長沼誠二 秋山 裕	癌細胞浸潤先端部における膜型プロテアーゼ インヒビター-HAI-1 の高発現.	第 91 回日本病理学会総 会	横浜	2002
伊藤浩史 片岡寛章	消化管上皮細胞に発現する Hepatocyte Growth Factor Activator Inhibitor (HAI) type2-Related Small Peptide (H2RSP)遺伝子の 同定とその機能解析.	第 88 回日本消化器病学 会総会	旭川	2002
片岡寛章 長沼誠二 内山周一郎 長池幸樹 田中弘之 伊藤浩史	癌細胞浸潤先端部における膜型プロテアーゼ インヒビター-HAI-1 の発現.	第 61 回日本癌学会総会	東京	2002
長沼誠二 伊藤浩史 内山周一郎 片岡寛章	マウス Hepatocyte Growth Factor Activator Inhibitor (HAI) type 2-Related Small Peptide (H2RSP) 遺伝子の同定とその機能解析.	第 25 回日本分子生物学 会年会	横浜	2002
田中弘之 伊藤浩史 長沼誠二 長池幸樹 片岡寛章	マウス Hepatocyte Growth Factor Activator Inhibitor type 1 (HAI-1) 及び type 2 (HAI-2) 遺伝子のクローニングとマウス及びヒト HAI-1 遺伝子プロモーター領域の解析.	第 25 回日本分子生物学 会年会	横浜	2002
Naganuma, S. Itoh, H. Tanaka, H. Uchiyama, S. Nagaïke, K. Kataoka, H.	Possible roles of a novel small nuclear peptide, hepatocyte growth factor activator inhibitor type-2 (HAI-2)-related small peptide (H2RSP), on the differentiation and regeneration of gastrointestinal epithelial cells. 3rd Colloquium for the Study of Gastrointestinal Defense System.	日本消化器免疫学会サテ ライトシンポジウム	Osaka	2003
山村武平	潰瘍性大腸炎の外科治療-教室(20年)の治 療戦略の変遷と治療成績-	第 171 回近畿外科学会 [特別講演]	大阪	2002/7/12
池内浩基 山村武平	プライマリ・ケアーからみたクローン病.	第 25 回日本プライマリー ケアー学会[サテライトシン ポジウム]	神戸	2002/6/1
池内浩基 野田雅史 柳 秀憲 山村武平	1 期的 J 型回腸囊肛門吻合術後の機能評価.	第 102 回日本外科学会定 期学術集会	京都	2002/4/11

池内浩基 中埜廣樹 中村光宏 野田雅史 柳 秀憲 山村武平 小坂 正 田村和民 福田能啓 下山 孝	クローン病の再手術率に影響を与える要因の検討.	第 57 回日本大腸肛門病学会総会[シンポジウム]	横浜	2002/10/5
池内浩基 中埜廣樹 中村光宏 野田雅史 柳 秀憲 山村武平	当科におけるクローン病手術症例の検討.	第 57 回日本消化器外科学会総会	京都	2002/7/28
中埜廣樹 池内浩基 野田雅史 柳 秀憲 山村武平	回腸膿瘍を生じたクローン病の 1 例.	第 57 回日本大腸肛門病学会総会	横浜	2002/10/5
田村和朗	潰瘍性大腸炎に合併する腫瘍性病変の遺伝子異常.	第 44 回日本消化器病学会大会	横浜	2002/10/24
前嶋京子 前嶋明人 岸 章司 小島 至	オートクリン因子アクチビンによる血管新生の制御.	第 6 回日本免疫学会総会	大阪	2002
小島 至 前嶋京子 前嶋明人	オートクリン因子アクチビンによる血管新生の制御.	第 25 回日本分子生物学会シンポジウム	横浜	2002

研究事業報告

(5) プロジェクト研究 (2) (13:00~13:40)

外科的治療法の確立と工夫

- ・クローン病術後の緩解維持

杉園 晴 (横浜市立大学市民総合医療センター・難病医療センター)

- ・Pouchitis の管理と予防

佐々木 敏 (東北大学大学院医学系研究科生体調節外科)

(6) プロジェクト研究 (5) (13:40~14:10)

新治療法の開発

- ・臨床試験

高後 裕 (旭川医科大学第3内科)

- ・基礎研究からの臨床応用

((10) プロジェクト研究 病態研究—治療への応用面から—と併せて)

(7) プロジェクト研究 (6) (14:10~14:40)

癌化

- ・サーベイランスの是非と早期発見

松本 善之 (大阪市立大学大学院消化器器官制御内科)

- ・機序追究

味岡 洋一 (新潟大学大学院医歯学研究科消化管病理学)

(8) プロジェクト研究 (7) (14:40~14:55)

疾患関連遺伝子

木内 真孝 (東北大学大学院医学系研究科消化器内科)

(9) プロジェクト研究 (8) (14:55~15:10)

腸内細菌の関与

藤山 佳秀 (滋賀医科大学第2内科)

(10) プロジェクト研究 (9) (15:10~15:30)

病態追究

- ・病因解明に向けて

千葉 勉 (京都大学大学院医学研究科消化器内科)

- ・治療への応用面から

((5) プロジェクト 新治療法の開発—基礎研究からの臨床応用—と併せて)

日比紀文 (慶應義塾大学医学部内科)

事務局連絡 (15:30~16:00)

懇親会 (16:00~)

平成 14 年 8 月 9 日 (金)

(参加者 164 名) 敬称略

班 長：日比紀文 (慶應大内科)

厚生労働省：名越 究

分担研究者：棟方博昭 (弘前大 1 内)、藤山佳秀 (滋賀医大消化器内科)、味岡洋一 (新潟大病態病理)、
佐々木 巖 (東北大生体調節外科)、櫻井俊弘 (福岡大筑紫病院消化器科)、
福田能啓 (兵庫医大消化器内科)、高後 裕 (旭川医大 3 内)、
千葉 勉 (京都大消化器内科)、松本誉之 (大阪市大消化器器官制御内科)、
木内喜孝 (東北大消化器内科)、武林 亨 (慶應大公衆衛生)、古野純典 (九州大予防医学)、
杉田 昭 (横浜市大市民医療センター・難病医療センター)、今井浩三 (札幌医大 1 内)、
土肥多恵子 (国立国際医療センター消化器疾患研究部)、鈴木健司 (新潟大消化器内科)、
渡辺 守 (東京医科歯科大消化器内科)

他班よりの研究協力者：岩男 泰 (慶応がんセンター)

顧問：朝倉 均 (新潟大)、下山 孝 (兵庫医大消化器内科)、馬場忠雄 (滋賀医大)

他：武田宏司、大川原辰也 (北海道大 3 内)、蘆田知史 (旭川医大 3 内)、

岡本哲郎 (札幌医大 4 内)、小林敬和、有村佳昭、岡原 聡 (札幌医大 1 内)、

石黒 陽、桜庭裕史 (弘前大 1 内)、田中正則 (弘前大 2 病理)、

飯塚政弘、渡辺純夫 (秋田大 1 内)、樋渡信夫 (磐城共立病院)、

高橋成一 (東北大消化器内科)、舟山裕士、福島浩平 (東北大胃腸外科)、

友政 剛、金子浩章 (群馬大小児科)、澤田俊夫、茂木健太 (群馬県立がんセンター)、

小西文雄 (自治医大大宮医療センター)、

寺野 彰、菅家一成、中野道子、(獨協医大消化器内科)、藤森健二 (埼玉医大 3 内)、

太田慎一、半場裕巳 (埼玉医大総合医療センター 1 内)、

三浦総一郎、都築義和、松崎宏治 (防衛医大 2 内)、鈴木康夫、勝野達郎 (千葉大 2 内)、

渡邊聡明 (東京大腫瘍外科)、岡村 登、千田俊雄 (東京医科歯科大保健衛生)、

北洞哲治、林 篤 (国立成育医療センター)、平塚 卓 (平塚胃腸病院)、

飯塚文瑛、羽村公代、加藤博士 (東京女子医大消化器内科)、

亀岡信悟、板橋道朗、吉田孝太郎 (東京女子医大 2 外)、

鳥居 明、猿田雅之、松岡美佳 (東京慈恵会医大消化器肝臓内科)、

高添正和、田中寅雄 (社保中央総合病院内科)、五十嵐正広 (北里大東病院内科)、

工藤由比、梅原 泰 (昭和大横浜北部病院消化器センター)、中島 淳 (横浜市大 3 内)、

小金井一隆 (横浜市立市民病院外科)、須田武保、飯合恒夫 (新潟大 1 外)、

川上和彦、中村利夫 (浜松医大 2 外)、楠神和男 (名古屋大病態内科)、

中野 浩、岩田正巳 (藤田保健衛生大内科)、藤井久男 (奈良県立医大内視鏡部)、

西沼 亮、小山文一（奈良県立医大1外）、岡崎和一（京都大消化器内科）、
荒木克夫、辻川知之、安藤 朗（滋賀医大消化器内科）、
吉田憲正、内藤裕二（京都府立医大1内）、北野厚生、渡辺芳久（東住吉森本病院）、
伊藤裕章（大阪大分子病態内科）、渡辺憲治、中村志郎、押谷伸英（大阪市立大3内）、
伊藤壽記、甲斐康之、安政啓吾、玉川浩司（大阪大1外）、
助川 寧、八木田旭邦（近畿大腫瘍免疫等研究所）、澤田康史（兵庫医大消化器内科）、
田村和朗（兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門）、
山村武平、池内浩基（兵庫医大2外）、春間 賢（川崎医大内科学消化器Ⅱ）、
松本主之（九州大病態機能内科）、光山慶一（久留米医大2内）、
牧山和也（長崎大光学医療診療部）、守田則一（大腸肛門病センター高野病院）、
片岡寛章、（宮崎医大2病理）、井戸章雄、山本章二郎（宮崎医大2内）、
与那嶺吉正、知念 寛（琉球大光学医療診療部）、
エバンチュア、島 ちか子、中村修二、池末金剛（日本抗体研究所）、
田中泰弘、鈴木秀樹、鈴木 学、田上智行、中川忠清、戸頃勝史（味の素）、
梅澤 努（味の素ファルマ）、平田憲子、竹内英寛、牛山秀彦、斎田裕子、金川章孝、
鎮目泰正、沢村泰成（旭メディカル）、伊坂公男、尾崎邦彦（田辺製薬）、
小林隆美、丸田展久（日清キョーリン）、根本昌臣、小林康祐、倉石多美子（中外製薬）、
飯岡 諭（テイコクメディックス）、秦野和浩（藤沢薬品）、合田巨人（慶應大医化学）、
石川博通（慶應大微生物）、長谷川博俊（慶應大外科）、
緒方晴彦、井上 詠、高石官均、長沼 誠、芳沢茂男、松岡克善、新井 潤、小池祐司、
佐藤俊朗、櫻庭 篤、諸星雄一、岸 祐介、前田謙一（慶應大内科）

事務局：鳥居玲子、立花佳美（慶応がんセンター）

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」
平成14年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成15年1月30日(木)

開会 (09:00)

I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 課長補佐：名越 究

II. 主任研究者挨拶・研究の進め方 班長：日比紀文

III. 研究報告

(1) プロジェクト研究 (09:20~09:35)

「データベースの拡充・活用」 責任者：名川弘一

IBD データベースの活用について

○名川弘一(東京大腫瘍外科)、里見匡迪(白山病院)、下山 孝(兵庫医大消化器内科)

(2) プロジェクト研究 (09:35~09:50)

「疫学的解析」 責任者：古野純典・武林 亨

IBD 疫学研究の最近の動向

○古野純典(九州大学大学院医学系研究院予防医学)

(3) プロジェクト研究 (09:50~10:20)

癌化「サーベイランスの是非と早期発見」 責任者：松本誉之

狙撃生検を中心としたサーベイランスシステムについて

○松本誉之(大阪市大大学院消化器器官制御内科)、
工藤進英(昭和大横浜北部病院消化器センター)、
春間 賢(川崎医大内科学消化器Ⅱ)、渡邊聡明(東京大学大学院腫瘍外科)、
五十嵐正広(北里大内科)

当科にて経験した colitic cancer 進行癌例について

○渡辺憲治、神野良男、中村志郎、押谷伸英、渡辺芳久、松本誉之

(大阪市大大学院消化器器官制御内科)、北野厚生(東住吉森本病院消化器病センター)

Crohn 病に合併した痔瘻癌の3例

○和田博雄、小金井一隆、福島恒男(横浜市立市民病院外科)

(4) プロジェクト研究 (10:20~10:35)

癌化「機序追究」 責任者：味岡洋一

粘液形質からみた colitic cancer の発生機序

○味岡洋一、渡辺英伸、馬場洋一郎、須田和敬(新潟大学医歯学総合研究科分子病態病理)

(5) プロジェクト研究 (10:35~10:55)

「疾患関連遺伝子」 責任者：木内喜孝

HLA-DRB1/DQB1 遺伝子多型におけるクローン病臨床病型別相関解析

○木内喜孝、松本桂輔、高橋成一、根来健一、下瀬川徹 (東北大消化器内科)
炎症性腸疾患の易罹患性と IL18 プロモーター領域ハプロタイプ

○田村和朗 (兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門)、指尾宏子、澤田康史、福田能啓、
下山 孝 (同 消化器内科)、山村武平 (同 2外)

(6) プロジェクト研究 (10:55~12:30)

外科的治療法の確立と工夫

「クローン病術後の緩解維持」 責任者：杉田 昭

「Pouchitis の管理と予防」 責任者：佐々木 巖

プロジェクト研究—Pouchitis における診断と重症度判定基準について検討する

○佐々木 巖 (東北大大学院生体調節外科・胃腸外科)

回腸肛門 (管) 吻合後の回腸囊炎の現状と問題点

○橋本明彦、舟山裕士、福島浩平、柴田近、高橋賢一、長尾宗紀、佐々木 巖
(東北大大学院生体調節外科・胃腸外科)

潰瘍性大腸炎手術後回腸囊炎症例の検討—症状と内視鏡像の対比—

○小金井一隆、福島恒男 (横浜市立市民病院外科)

当科における回腸のう炎症例の検討

山村武平、○池内浩基、中埜廣樹、中村光宏、野田雅史、柳 秀憲 (兵庫医大 2外)

Crohn 病術後緩解維持に対する栄養療法の有用性の検討—プロトコールについて—

○杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター)、木村英明、山崎安信、
国崎玲子、嶋田 紘 (横浜市大 2外)、小金井一隆、福島恒男 (横浜市民病院外科)

クローン病術後の経腸栄養併用による維持療法の意義

○甲斐康之、伊藤壽記、玉川浩司、水島恒和、安政啓吾 (大阪大大学院臓器制御外科)、
根津理一郎 (大阪労災病院外科)

UC に対する腹腔鏡下手術の適応

亀岡信悟、○板橋道朗、小川真平、吉田孝太郎 (東京女子医大 2外)

IBD 患者の手術術式選択における「効用評価」の提案

○吉岡和彦、中野雅貴、森田美佳、岩本慈能 (関西医大 2外)

潰瘍性大腸炎手術例の長期経過

○杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター)

昼食・幹事会 (12:30~13:30)

(7) プロジェクト研究 (13:30~15:00)

内科的治療法の確立と工夫—コンビネーション治療を含めて—

「潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持」 責任者：棟方昭博

潰瘍性大腸炎の難治例の定義について

○棟方 昭博 (弘前大 1内)

活動期潰瘍性大腸炎に対する初期治療としての顆粒球吸着除去療法の検討

○鈴木康夫、吉村直樹、時田健二、勝野達朗、齋藤 康

(千葉大大学院医学研究院細胞治療学)

重症潰瘍性大腸炎に対する早期サイクロスポリン投与の検討

○鈴木康夫、吉村直樹、時田健二、勝野達朗、齋藤 康

(千葉大大学院医学研究院細胞治療学)

当院における潰瘍性大腸炎患者のイムラン治療症例の検討

金城福則、○与那嶺吉正、砂川 隆、豊見山良作、半仁田慎一、川根真理子、宮城 剛、

又吉亮二、外間 昭 (琉球大光学医療診療部・第1内科)

炎症性腸疾患アザチオプリン/6メルカプトプリン少量投与例における6MP代謝産物の検討

○芳沢茂雄、長沼 誠、田中庸一、諸星雄一、新井 潤、小池祐司、松岡克善、井上 詠、

緒方晴彦、岩男 泰、石井裕正、日比紀文 (慶應大内科)

潰瘍性大腸炎に対するBDP注腸療法 (全大腸炎型症例に対する工夫)

○茂木健太 (群馬県立がんセンター消化器内科)、鮫島伸一、澤田俊夫 (同 外科)

難治性潰瘍性大腸炎に対するレバミピド注腸療法の有用性

○古田竜一、西脇 毅、野畑和夫、都築智之、安藤貴文、伊奈研次、楠神和男

(名古屋大大学院医学系研究科病態内科)

小児潰瘍性大腸炎治療指針案

○友政 剛 (群馬大小児科)、小林昭夫 (昭和大附属豊洲病院小児科)、

牛島高介 (久留米大小児科)、内田恵一 (三重大外科)、

鍵本聖一 (埼玉県立小児医療センター)、清水俊明 (順天堂大小児科)、

田尻 仁 (大阪府立病院小児科)、田原卓浩 (国立成育医療センター総合診療部)、

余田 篤 (大阪医大小児科)

薬物治療抵抗性の潰瘍性大腸炎患者を予測する生検診断基準—multicenter studyによる診断制度の検討—

○田中正則、工藤 一 (弘前大2病理)

潰瘍性大腸炎PBMCにおけるhGRβ mRNAの定量的解析

○蘆田知史、折居史佳、綾部時芳、前本篤男、岡本耕太郎、藤谷幹浩、斉藤裕輔、

高後 裕 (旭川医大3内)

難治重症、劇症型潰瘍性大腸炎でのサイトメガロウイルスの感染

○桑原明史、須田武保、岡本春彦、飯合恒夫、岩谷 昭、畠山勝義

(新潟大大学院医学系研究科消化器・一般外科)、味噌洋一 (同 分子病態病理学)

(8) プロジェクト研究 (15:00~15:25)

内科的治療法の確立と工夫—コンビネーション治療を含めて—

「クローン病の薬物療法」 責任者: 飯田三雄

クローン病に対するTNF- α の使用状況: 全国のアンケート調査から

○飯田三雄 (九州大大学院医学系研究科病態機能内科)

クローン病10年以上観察例の検討

○田中寅雄、高添正和 (社保中央総合病院内科)

抗TNF α を投与したクローン病症例の検討

○高浜和也、長坂光夫、岩田正巳、有沢富康、渡辺 真、中野 浩 (藤田保健衛生大消化器内科)

(9) プロジェクト研究 (15:25~15:40)

内科的治療法の確立と工夫—コンビネーション治療を含めて—

「食事療法の工夫」 責任者：福田能啓

クローン病の食事療法確立に向けての prospective study

- 福田能啓 (兵庫医大消化器内科)、高添正和 (社保中央総合病院内科)、金城福則 (琉球大光学医療診療部)、鳥居 明 (慈恵医大消化器内科)、守田則一 (大腸肛門病センター高野病院)、松枝 啓 (国立精神・神経センター国府台病院消化器)

(10) 再生分科会 (15:40~16:10)

粘膜再生治療「基礎面から」 責任者：土肥多恵子

上皮細胞回転における粘膜免疫異常の意義

- 土肥多恵子 (国立国際医療センター研究所)、中島 淳 (横浜市大3内)、小島 至 (群馬大生体調節研究所)

腸管粘膜上皮再生における肝細胞増殖因子活性化因子の役割 (ノックアウトマウスを用いた解析)

- 伊藤浩史、片岡寛章 (宮崎医大2病理)

DSS 腸炎の上皮細胞傷害機序

- 櫻庭裕丈、棟方昭博、石黒 陽、山形和文 (弘前大1内)

各種 Toll like receptor ligand の腸上皮細胞創傷治癒への関与

- 飯塚政弘、金野志穂、佐々木健治、佐藤亜紀子、堀江泰夫、渡辺純夫 (秋田大1内)

(11) 再生分科会 (16:10~17:00)

粘膜再生治療「臨床面から」 責任者：今井浩三

粘膜再生における MMP の役割

- 小林歓和、後藤 啓、岡原 聡、有村佳昭、今井浩三 (札幌医大1内)

実験腸炎に対する HGF 遺伝子治療の検討

- 鈴木健司、河内祐介、渡辺史郎、青柳 豊 (新潟大大学院医歯学総合研究科消化器内科)

抗 IP-10 抗体による粘膜再生療法開発の検討

- 鈴木健司、河内祐介、渡辺史郎、青柳豊 (新潟大大学院医歯学総合研究科消化器内科)

TNBS 腸炎モデルに対する HGF の効果

- 福田能啓、○堀 和敏、應田義雄、澤田康史、下山 孝 (兵庫医大消化器内科)

骨髄由来上皮細胞によるヒト腸管上皮の再生

—骨髄細胞を利用した炎症性腸疾患に対する新規治療法の開発を目指して—

- 岡本隆一、松本智子、山崎元美、中村哲也、金井隆典、渡辺 守 (東京医科歯科大消化・代謝内科)、矢島知治、日比紀文 (慶應大内科)

HGF 腸管粘膜再生療法をめざして—HGF の前臨床試験成績

- 井戸章雄 (京都大学探索医療センター)、坪内博仁 (宮崎医大2内)

懇親会 (17:00~)

Ⅲ. 研究発表(続)

(12) プロジェクト研究(09:00~9:30)

「QOLの評価と改善」 責任者: 櫻井俊弘・岩男 泰

潰瘍性大腸炎手術例の術後QOLの検討—短期経過(SF36)と長期予後—

○杉田 昭(横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター)、
橋本秀樹(帝京大学公衆衛生学)、岩男泰(慶応大内科) 木村英明、山崎安信、嶋田 紘
(横浜市大2外)、小金井一隆、福島恒男(横浜市民病院外科)

Crohn病QOLの縦断研究—1年間の追跡調査について

○櫻井俊弘、松井敏幸、八尾恒良(福岡大筑紫病院消化器科)、橋本英樹(帝京大学衛生学・
公衆衛生学教室)、岩男 泰(慶應大内科)

(13) プロジェクト研究(09:30~10:10)

「腸内細菌の関与」 責任者: 藤山佳秀

クローン病に対するプロバイオティクスの基礎的および臨床的効果

○福田能啓、富田寿彦、堀 和敏、小阪 正、澤田康史、田村和民、下山 孝
(兵庫医大消化器内科)

回腸囊炎症例における腸内細菌叢の検討—非回腸囊炎症例と比較して

○岩谷 昭、飯合恒夫、岡本春彦、須田武保、畠山勝義
(新潟大大学院医学系研究科消化器・一般外科)、山本達男(同 細菌学)、
味岡洋一(同 分子病態病理学)、野本康二(ヤクルト中央研究所)

潰瘍性大腸炎に対する発芽大麦(GBF)の効果

○光山慶一、佐田通夫(久留米医大2内)、藤山佳秀(滋賀医大消化器内科)

(14) プロジェクト研究(10:10~10:35)

新治療法の開発「臨床試験」 責任者: 高後 裕

「基礎研究からの臨床応用」 責任者: 日比紀文

潰瘍性大腸炎の虫垂切除

○牧山和也(長崎大光学医療診療部)、大野康治、兼松隆之(同 2外)
上田剛資(長崎記念病院外科)、黒崎伸子(健保諫早総合病院外科)

IL-10 遺伝子欠損マウスにおける自然発症腸炎に対する新規免疫抑制剤FTY720の効果

○水島恒和、伊藤壽記、甲斐康之、玉川浩司(大阪大大学院臓器制御外科)

(15) プロジェクト研究(10:35~12:00)

病態追究「病因解明に向けて」 責任者: 千葉 勉

クローン病におけるMycobacterium paratuberculosis 特異的IS900抗体の検出

○岡崎和一、仲瀬裕志、玉置敬之、松浦 稔、千葉 勉(京都大消化器内科)

IBDの重症度と患者血漿クリオフィブリノーゲン濃度、UTI、MMPとの関連性

福田能啓、○澤田康史、大西国夫、福永 健、下山 孝(兵庫医大消化器内科)

デキストラン硫酸大腸炎モデルと *Yersinia enterocolitica* Hsp60 大腸炎モデルにおける CD25⁺CD4⁺抑制性 T 細胞

八木田旭邦、○助川 寧、丸山正二 (近畿大腫瘍免疫等研究所)、山口博之、
神谷 茂 (杏林大感染症学)

マウスデキストラン硫酸大腸炎におけるヘムオキシゲナーゼ 1 の役割に関する実験的検討

○内藤裕二、高本智久、吉田憲正、吉川敏一 (京都府立医大 1 内)

SAMP1/Yit 回腸炎マウスモデル小腸リンパ装置および小腸粘膜における T リンパ球 migration の動態

○都築義和、松崎宏治、三浦総一郎 (防衛医大 2 内)

潰瘍性大腸炎の病変部および末梢血における Th1/Th2 バランスの検討

○岡本哲郎、藤田朋紀、林 修也、滝沢耕平、高柳典弘、高山哲治、加藤淳二、坂牧純夫、
新津洋司郎 (札幌医大 4 内)

炎症性腸疾患における腸間膜リンパ節樹状細胞の解析

○桜庭 篤、佐藤俊朗、岸 祐介、一松 収、江崎俊彦、高石官均、井上 詠、石井裕正、
日比紀文 (慶應大内科)、小金井一隆、福島恒男 (横浜市民病院外科)

プロスタグランジンによる VEGF 産生の制御

○伴場裕巳 (埼玉医大総合医療センター 1 内)、太田慎一 (埼玉医大 3 内)

事務局連絡

閉会の挨拶

班 長：日比紀文 (慶應大内科)

厚生労働省：名越 究

分担研究者：棟方博昭 (弘前大 1 内)、藤山佳秀 (滋賀医大消化器内科)、味岡洋一 (新潟大病態病理)、
飯田三雄 (九州大病態機能内科)、佐々木 巖 (東北大生体調節外科)、
櫻井俊弘 (福岡大筑紫病院消化器科)、福田能啓 (兵庫医大消化器内科)、
高後 裕 (旭川医大 3 内)、千葉 勉 (京都大消化器内科)、木内喜孝 (東北大消化器内科)、
松本蒼之 (大阪市大消化器器官制御内科)、武林 亨 (慶應大公衆衛生)、
名川弘一 (東京大腫瘍外科)、古野純典 (九州大予防医学)、今井浩三 (札幌医大 1 内)、
杉田 昭 (横浜市大市民医療センター・難病医療センター)、坪内博仁 (宮崎医大 2 内)、
土肥多恵子 (国立国際医療センター消化器疾患研究部)、鈴木健司 (新潟大消化器内科)、
渡辺 守 (東京医科歯科大消化器内科)

他班よりの研究協力者：岩男 泰 (慶應大内科)

顧 問：朝倉 均 (国際医学情報センター)、下山 孝 (兵庫医大消化器内科)、
馬場忠雄 (滋賀医大)、武藤徹一郎 (癌研究所附属病院)

他：武田宏司、大川原辰也 (北海道大 3 内)、蘆田知史 (旭川医大 3 内)、
岡本哲郎 (札幌医大 4 内)、小林歓和、有村佳昭、岡原 聡、後藤 啓 (札幌医大 1 内)、
石黒 陽、桜庭裕史、山形和史 (弘前大 1 内)、田中正則 (弘前大 2 病理)、
千葉俊美、久多良徳彦 (岩手医大 1 内)、飯塚政弘、渡辺純夫 (秋田大 1 内)、
武田弘明 (山形大 2 内)、松本桂輔、高木 承、橋本明彦 (東北大消化器内科)、
舟山裕士、福島浩平、高橋賢一 (東北大胃腸外科)、樋渡信夫 (磐城共立病院)、
友政 剛、金子浩章 (群馬大小児科)、半場裕巳 (埼玉医大総合医療センター 1 内)、
澤田俊夫、茂木健太、鮫島伸一、姜 建宇 (群馬県立がんセンター)、
三浦総一郎、都築義和、松崎宏治 (防衛医大 2 内)、
鈴木康夫、(千葉大 2 内)、渡邊聡明 (東京大腫瘍外科)、
岡村 登、千田俊雄、松本智子、岡本隆一 (東京医科歯科大保健衛生)、
北洞哲治 (国立成育医療センター)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器内科)、
亀岡信悟、板橋道朗、(東京女子医大 2 外)、鳥居 明 (東京慈恵会医大消化器肝臓内科)、
高添正和、田中寅雄、森田英次郎 (社保中央総合病院内科)、
五十嵐正広 (北里大東病院内科)、木村英明 (横浜市大市民医療センター)
工藤進英、工藤由比 (昭和大横浜北部病院消化器センター)、
福島恒男、小金井一隆、和田博雄 (横浜市立市民病院外科)、
畠山勝義、須田武保、飯合恒夫、岩谷 昭、桑原明史 (新潟大 1 外)、

楠神和男、古田竜一（名古屋大病態内科）、
高濱和也、長坂光夫、有沢富康（藤田保健衛生大内科）、
楠 正人、間山裕二、荒木俊光（三重大2外）、藤井久男（奈良県立医大内視鏡部）、
小山文一（奈良県立医大1外）、岡崎和一、河南智晴（京都大消化器内科）、
井戸章雄（京都大探索医センター）、内藤裕二（京都府立医大1内）、
荒木克夫、辻川知之、安藤 朗、佐々木雅也（滋賀医大消化器内科）、
北野厚生（東住吉森本病院）、吉岡和彦（関西医大2外）、
渡辺憲治、稲川 誠（大阪市立大3内）、甲斐康之、根津理一郎（大阪労災病院）、
伊藤裕章、小川弘之（大阪大分子病態内科）、
伊藤壽記、玉川浩司、水島恒和（大阪大1外）、
八木田旭邦、助川 寧（近畿大腫瘍免疫等研究所）、
澤田康史、堀 和敏、應田義雄（兵庫医大消化器内科）、
田村和朗（兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門）、
山村武平、池内浩基、中埜廣樹（兵庫医大2外）、松本主之（九州大病態機能内科）、
衣笠哲史（福岡高野病院）、二見喜太郎、東 大二郎、平野憲治（福岡大筑紫病院外科）、
岩下明德（福岡大筑紫病院病理）、松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器内科）、
光山慶一、桑木光太郎、富安信夫（久留米医大2内）、牧山和也（長崎大光学医療診療部）、
守田則一（大腸肛門病センター高野病院）、片岡寛章、伊藤浩史（宮崎医大2病理）、
山本章二郎、中西千尋、宇都浩文、沼田政嗣（宮崎医大2内）、
金城福則、与那嶺吉正、知念 寛（琉球大光学医療診療部）、
細井栄治（日本抗体研究所）、鈴木秀樹、戸頃勝史、武田智子、伊藤 太、橋本雅棋、
山多洋司、藤田真一、徳増宗孝、矢野徹雄、梅澤 努（味の素）、金内 理（キリン）、
島 明弘、澤田和史、稲場昭喜（味の素ファルマ）大原博民、古莊久見子（フジサワ）、
金川章孝、柴田 博（旭メディカル）、麻野 修、高畑英夫（田辺製薬）、
丸田展久、藤井克典（日清キョーリン）、根本昌臣、倉石多美子（中外製薬）、
亀井光之、横須賀秀人（エーザイ）、高橋良樹、野津克忠、野口敬康（わかもと製薬）、
緒方晴彦、井上 詠、高石官均、一松 収、松岡克善、新井 潤、小池祐司、芳沢茂男、
佐藤俊朗、櫻庭 篤、諸星雄一、岸 祐介、前田謙一、鎌田信彦（慶應大内科）

事務局：鳥居玲子、高井由貴、立花佳美（慶応包括先進医療センター）

社 会 活 動